

令和6年度 秋季特別展

2024 9 / 14 土 Sat.

11 / 24 日 Sun.



うつりゆく 甲と

CHANGES IN ARMOR

由月 かぶと

よるい

弥生から江戸へ



観覧時間 午前9時30分～午後5時

(入場は午後4時30分まで)

休館日 月曜日※祝休日の場合は翌平日

観覧料 大人：500(400)円

大学生：400(300)円

高校生以下無料

※()は20名以上の団体料金

※障害者手帳またはマイロイD提示で本人は75%減免。

介助者1名まで無料

※70歳以上の方は大人料金の半額

主催：兵庫県立考古博物館

後援：兵庫県／兵庫県教育委員会／NHK神戸放送局

サンテレビジョン／ラジオ関西／播磨町国際交流協会

協力：奈良県立橿原考古学研究所附属博物館／山陽電気鉄道株式会社

(公財)兵庫県まちづくり技術センター／ひょうご考古倶楽部

左上：堅矧板鋸留衝角付冑・長方板革綴短甲・頸甲・肩甲(古墳時代)

茶すり山古墳(朝来市)朝来市教育委員会蔵 国指定重要文化財

右下：緋威金小札二枚胴具足(六十二間筋兜付)(江戸時代)兵庫県立歴史博物館蔵

触れる・体感する、考古学のワンダーランド。

兵庫県立考古博物館

Hyogo Prefectural Museum of Archaeology

English General Information



ホームページ



うつりゆく甲と冑

— 弥生から江戸へ —

2024

9/14(土) ~ 11/24(日)

弥生時代以降に激しくなった集団間の争いは、攻撃のための武器だけでなく、身を守るための武器である甲や冑を生み出しました。これらは戦い方の変化や社会情勢に対応し、機能的には不要とも思える装飾が施されており、当時の人々が甲冑に実用品以上の意味を見いだしていたことが分かります。

本展覧会では、弥生時代から江戸時代までの出土品や伝世品の甲冑を一堂に紹介し、その変遷をたどるとともに、戦いに臨む武人たちが込めた思いを探ります。



三鍬形前立浅葱糸威二方白筋兜 (室町時代・江戸時代後補)
(所蔵・写真提供 兵庫県立歴史博物館)



鉄地雲龍文銅象嵌金銀鍍鍬形 (平安時代) 京都府 法住寺殿跡
(所蔵・写真提供 木下美術館) **国指定重要文化財**



三角板鉄留異形衝角冑 (古墳時代)
丹波篠山市 雲部車塚古墳
(保管・写真提供 京都大学考古学研究室)



横矧板鉄留短甲 (古墳時代)
加西市 亀山古墳
(所蔵 東京国立博物館
出典: ColBase (https://colbase.nich.go.jp))



鍬形台 (室町時代)
豊岡市 宮内堀脇遺跡
(所蔵 当館)



鍬 (鎌倉時代)
神奈川県 下馬周辺遺跡
(所蔵・写真提供 神奈川県教育委員会)
神奈川県指定重要文化財



鉄五枚張星兜鉢 (平安時代)
徳島県 伝小塚出土
(所蔵・写真提供 藍住町教育委員会)
藍住町指定有形文化財

講演会

13:30 ~ 15:00 (12:45 開場) 当館講堂、定員 80 名【無料・要予約】

9月21日(土) 申込期間: 7/23 ~ 9/3

『古墳時代の軍事活動』和田 晴吾 当館 名誉館長

10月5日(土) 申込期間: 8/6 ~ 9/17

『作る。配る。使う。埋める。—古墳時代の甲冑から見えるもの—』

川畑 純 奈良文化財研究所 主任研究員

10月26日(土) 申込期間: 8/27 ~ 10/8

『中世の甲冑と戦闘』近藤 好和 有職故実研究家

11月16日(土) 申込期間: 9/18 ~ 10/29

『甲冑の変遷をたどる—秋季特別展のみどころ—』

渡瀬 健太 当館 学芸員

予約方法

<応募者多数の場合は抽選となります。当落に関わらず、抽選結果をお知らせします。>

オンラインでの予約

- 当館ホームページより予約いただけます。
- 講義会・ミニ講座 詳細・申込ページ



往復はがきでの予約 (1枚につき1名1講演のみ)

- 往復はがきに、下記の内容を記入してください。
- ①開催日・講演会名 ②名前(フリガナ)・年齢
- ③住所 ④電話番号(当日連絡のつく番号)
- 送付先(往信) 〒675-0142 加古郡播磨町大中 1-1-1 兵庫県立考古博物館 学芸課

関連イベント

体験料無料・要観覧券 当日予約制、先着 10組まで(体験所要時間 30分)

10:00 ~ 12:00 (受付終了 11:30)、13:00 ~ 16:00 (受付終了 15:30)

※両体験共に、身長・体重等によりご着用いただけない場合もございますのでご了承ください。

10月12日(土)

『甲冑を着てみよう!』(戦国時代編) 協力: 赤松手づくり鎧かぶとの会

特殊な紙で作られた実物そっくりの甲冑を着て、写真を撮ろう!
子どもから大人まで楽しんでいただけるサイズをご用意しています。

開催期間中

毎週日曜日・祝日(振替休日も含む)

『甲冑を着てみよう!』(古墳時代編・江戸時代編) 協力: 藤井寺市教育委員会・明石市立文化博物館

実物そっくりに作られた古墳時代、江戸時代の甲冑を着て、写真を撮ろう!
身長 150cm 以上の方に体験していただけます。



アクセス

【電車】・JR 土山駅南口から「であいのみち」を徒歩 15分
・山陽電車播磨町駅から喜瀬川に沿って徒歩 25分
【車】・第二神明/加古川バイパス明石西ICから約 3km
※自動車でお越しの方は町営大中遺跡公園駐車場(64台/有料)
もしくは町営野添であい公園駐車場(50台/有料)をご利用ください。
イベント等の実施により混雑する場合がありますので、ご注意ください。

触れる・体感する、考古学のワンダーランド。
兵庫県立考古博物館
Hyogo Prefectural Museum of Archaeology

〒675-0142 加古郡播磨町大中 1-1-1
【電話】079-437-5589 【FAX】079-437-5599
【HP】https://www.hyogo-koukohaku.jp/



連携展覧会

令和6年 秋季特別展

半券・観覧証明をお持ちの方は団体料金にてご観覧いただけます。

「甲冑—古墳時代の武威と技術—」

令和6年

10月5日(土) ~ 12月1日(日)

開館時間: 9時 ~ 17時 (入館は16時30分まで)

休館日: 月曜日 ※祝休日の場合は翌平日



奈良 橿原考古学研究所附属博物館
The Museum, Archaeological Institute of Kashihara, Nara Prefecture